

商品名 クエチアピン錠25mg「JG」 医薬品基本情報

薬効	1179 その他の精神神経用剤	一般名	クエチアピンフマル酸塩25mg錠
英名	Quetiapine JG	剤型	錠
薬価	10.40	規格	25mg 1錠
メーカー	日本ジェネリック	毒劇区分	(劇)

クエチアピン錠25mg「JG」の効能・効果

統合失調症

クエチアピン錠25mg「JG」の使用制限等

1. 昏睡状態、中枢神経抑制剤の強い影響下、アドレナリン投与中＜アナフィラキシー救急治療・歯科浸潤又は伝達麻酔除く＞、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、糖尿病又はその既往	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 肝機能障害	記載場所	用法・用量
	注意レベル	慎重投与
3. 高血糖、肥満、糖尿病の危険因子を有する、低血圧又はその恐れ・疑い、脳血管障害又はその恐れ・疑い、心・血管疾患又はその恐れ・疑い、痙攣性疾患又はその既往、てんかん又はその既往、不整脈又はその既往、先天性QT延長症候群、自殺企図の既往、自殺念慮、糖尿病の家族歴、脱水状態、長期臥床、不動状態、肝機能障害、高齢認知症	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

クエチアピン錠25mg「JG」の副作用等

1. 高血糖、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡、死亡、致命的経過	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 低血糖、脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害、低血糖症状、高熱が持続、呼吸困難、循環虚脱、脱水症状、急性腎障害、死亡、横紋筋融解症、筋肉痛、C K上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、痙攣、無顆粒球症、白血球減少、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇、Al-P上昇、肝機能障害、黄疸、腸管麻痺、食欲不振、悪心、嘔吐、著しい便秘、腹部膨満、腹部弛緩、腸内容物うっ滞、麻痺性イレウス、深部静脈血栓症、肺塞栓症、静脈血栓症、血栓塞栓症、息切れ、胸痛、四肢疼痛、浮腫、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Steven Johnson症候群、多形紅斑	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

3. 悪性症候群、Syndrome malin、無動緘黙、強度筋強剛、嚥下困難、頻脈、血圧変動、発汗、発熱、白血球増加、CK上昇、ミオグロビン尿、腎機能低下、遅発性ジスキネジア、口周部不随意運動、不随意運動	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
4. 不眠、易刺激性、傾眠、不安、頭痛、めまい、アカシジア、振戦、構音障害、頻脈、AST上昇、ALT上昇、LDH上昇、便秘、食欲減退、高プロラクチン血症、T4減少、倦怠感、無力症、CK上昇	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
5. 統合失調性反応、協調不能、レストレスレッグス症候群、軽躁、注意力障害、過眠症、自殺念慮、自傷行動、焦躁感、鎮静、意識レベル低下、せん妄、敵意、錐体外路症状、構語障害、錐体外路障害、パーキンソン症候群、白血球数増加、好酸球増加症、貧血、血小板減少、血管拡張、動悸、心電図QT延長、肝機能検査異常、咳増加、鼻閉、鼓腸放屁、消化管障害、吐血、直腸障害、過食、腹部膨満、胃食道逆流性疾患、肺炎、胃炎、胃不快感、弱視、結膜炎、T3減少、痛風、低ナトリウム血症、水中毒、多飲症、TSH減少、TSH上昇、高トリグリセリド血症、高尿酸血症、尿糖陽性、FT4減少、乳汁漏出症、過敏症、血管浮腫、そう痒、湿疹、持続勃起、射精異常、インポテンス、頻尿、膀胱炎、尿蛋白陽性、顔面浮腫、頸部硬直、腫瘍、過量投与、骨盤痛、歯牙障害、関節症、滑液包炎、筋無力症、痙攣、悪化反応、偶発外傷、耳障害、味覚倒錯、ざ瘡、脱毛症、薬剤離脱症候群、不眠、悪心、頭痛、下痢、嘔吐、口渇、回転性めまい、悪寒、靱帯捻挫、意欲低下、末梢性浮腫、関節痛	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
6. 幻覚の顕在化、健忘、攻撃的反応、昏迷、神経症、妄想の顕在化、リビドー亢進、感情不安定、激越、錯乱、思考異常、自殺企図、人格障害、躁病反応、多幸症、舞踏病様アテトーシス、片頭痛、悪夢、うつ病、独語、衝動行為、自動症、筋強剛、流涎過多、運動緩慢、歩行障害、ジスキネジア、嚥下障害、ジストニア、眼球回転発作、顆粒球減少、起立性低血圧、心悸亢進、心電図異常、低血圧、高血圧、徐脈、不整脈、失神、Al-P上昇、γ-GTP上昇、ビリルビン血症、去痰困難、鼻炎、悪心、食欲亢進、嘔吐、腹痛、下痢、消化不良、瞳孔反射障害、高コレステロール血症、月経異常、甲状腺疾患、高脂血症、高カリウム血症、肥満症、発疹、排尿障害、排尿困難、尿失禁、尿閉、BUN上昇、口内乾燥、体重増加、多汗、発熱、体重減少、胸痛、筋肉痛、舌麻痺、しびれ感、背部痛、浮腫、ほてり、歯痛	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
7. 著しい血糖値上昇、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡、死亡	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 著しい血糖値上昇、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡、致命的経過	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
9. 低血糖、脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害、低血糖症状	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
10. 無顆粒球症、白血球減少	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

11.	口渇、多飲、多尿、頻尿、血糖値上昇、体重増加、肥満、起立性低血圧、立ちくらみ、めまい、低血圧症状、不眠、悪心、頭痛、下痢、嘔吐、離脱症状、一過性血圧降下、QT間隔延長、肺塞栓症、静脈血栓症、血栓塞栓症、哺乳障害、傾眠、呼吸障害、振戦、筋緊張低下、易刺激性、錐体外路症状、鎮静、頻脈、低血圧、昏睡、死亡、突然死、心筋梗塞、出血性胃潰瘍、急性腎障害、死亡率上昇、三角状後白内障、乳腺腫瘍	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明

クエチアピン錠25mg「JG」の相互作用

1.	薬剤名等	アドレナリン		
	発現事象	作用を逆転させ重篤な血圧降下	投与条件	-
	理由・原因	アドレナリンはアドレナリン作動性 α 、 β －受容体の刺激剤であり、本剤の α －受容体遮断作用により、 β －受容体の刺激作用が優位となり、血圧降下作用が増強	指示	禁止
2.	薬剤名等	中枢神経抑制剤		
	発現事象	中枢神経抑制作用が増強	投与条件	-
	理由・原因	薬力学的相互作用を起こす	指示	慎重投与
3.	薬剤名等	アルコール		
	発現事象	中枢神経抑制作用が増強	投与条件	-
	理由・原因	薬力学的相互作用を起こす	指示	慎重投与
4.	薬剤名等	強いCYP3A4阻害作用を有する薬剤		
	発現事象	本剤の作用を増強、本剤の血漿中濃度が高値となりQT間隔が延長	投与条件	-
	理由・原因	本剤の主要代謝酵素であるCYP3A4を強く阻害するため、血漿中濃度が上昇	指示	慎重投与
5.	薬剤名等	CYP3A4阻害作用を有する薬剤		
	発現事象	本剤の作用を増強	投与条件	-
	理由・原因	本剤の主要代謝酵素であるCYP3A4を阻害するため、血漿中濃度が上昇	指示	慎重投与
6.	薬剤名等	CYP3A4誘導作用を有する薬剤		
	発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
	理由・原因	本剤の主要代謝酵素であるCYP3A4の誘導により、本剤のクリアランスが増加	指示	注意
7.	薬剤名等	QT延長を起こすことが知られている薬剤		
	発現事象	QT延長	投与条件	-
	理由・原因	QT延長作用が相加的に増加	指示	注意

8. 薬剤名等：アドレナリン含有歯科麻酔剤

発現事象	重篤な血圧降下	投与条件	-
理由・原因	アドレナリンはアドレナリン作動性 α 、 β －受容体の刺激剤であり、本剤の α －受容体遮断作用により、 β －受容体の刺激作用が優位となり、血圧降下作用が増強	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』